マニュアル番号 ME-1485
改-3

カーポート 新日軽ニューエクジスRミニ組立施工マニュアル

この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この組立て施工マニュアルをよくお読みの上、作業を行なってください。

◎組立・施工の前に

- 本マニュアルに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全を確保する上で重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- このマニュアルおよび同梱されている「取り扱いの手引き」は施工後必ず施主様へお渡しください。

○注意(設置場所・設置位置について)

- この商品は一般地域用です。【積雪強度600N/㎡(61.2kg/㎡)・耐風圧強度：33m/s】(風力係数1.0当社計算による)積雪の多い地域・風の強い地域には取付けないでください。
- 大屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により商品が破損するおそれがあります。
- 基礎は弊社指定寸法以上にしてください。
- 地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。

○施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液はアルカリ性で、シミやムラ等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中に商品に付着しないようにご注意ください。
- 養生期間は十分(4日～1週間)にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

— 目 次 —

組立・施工の前に	・・・・・	1
注意(設置場所・設置位置について)	・・・・・	1
施工時の注意事項	・・・・・	1
梱包明細	・・・・・	2
梱包明細・構造説明図	・・・・・	3
納まり図	・・・・・	4
基礎の施工(単体・連棟)	・・・・・	5
基礎の施工(背面合掌)	・・・・・	6
本体の組立て	・・・・・	5～7
屋根材および押え材の取付け	・・・・・	8
雨樋の組立て	・・・・・	9
連棟部の組立て	・・・・・	10
背面合掌・連棟背面合掌の組立て	・・・・・	11
車輪止めバーの取付け	・・・・・	12
屋根材の補修方法	・・・・・	12
施工完了時の注意事項	・・・・・	12
オプション品のご紹介	・・・・・	12

梱包明細

部材セット明細			
梱包名称	部材・部品名称		数量
標準柱	柱		2(2本入り)、1(1本入り)
長柱			
はり	はり	(奥行21用)	2(2本入り)、1(1本入り)
側枠・たる木	側枠	(奥行21用)	RL各1
	たる木	(奥行21用)	3(間口30用)、5(間口44用)
	押え材	(奥行21用)	5(間口30用)、7(間口44用)
連棟たる木	連棟たる木	(奥行21用)	4(間口30用)、6(間口44用)
	押え材	(奥行21用)	4(間口30用)、6(間口44用)
前後枠セット	前・後枠	(奥行21用)	各1
	母屋	(奥行21用)	2
連棟前後枠セット	連棟前・後枠	(奥行21用)	各1
	母屋(部品つき)	(奥行21用)	2
背面合掌用前後枠セット	前枠	(奥行21用)	RL各1
	後枠	(奥行21用)	RL各1
背面合掌連棟前後枠セット	前枠	(奥行21用)	RL各1
	後枠	(奥行21用)	RL各1
背面合掌用母屋セット	母屋	(奥行21用)	RL各2
	背面合掌カバー	(奥行21用)	1
背面合掌連棟母屋セット	母屋	(奥行21用)	RL各2
	背面合掌カバー	(奥行21用)	1
屋根材	アクリル板、ポリカーボネート板		3枚入り、4枚入り
	アルミ板		2枚入り、3枚入り

ニューエクシスRミニ標準部品箱明細				
組立手順	部品名称		部品記号	数量
				共通
①基礎の施工	アンカー棒		AN-1045	2
②はりの取付け	はりキャップ		C-1510	2
	柱・はりジョイナー		EB-1169	2
	前後枠ピース		LB-1006	4
	M8×20六角フランジボルト		BN-1150	16
	φ4×12トラス(タッピン3種)		3TA4×12S	9
	孔ふさぎシール		NM-73	4
③止水パッキンの取付け	止水パッキン		BU-1033	2
	孔ふさぎシール		NM-73	8
	コーキング材		NBC-256	1
④前後枠・母屋の取付け	横材ブラケット		AB-144	4
	M8×20六角ボルト		BHO8×020S	4
	M8用フランジナット		BN-1151	4
	φ4×12トラス(タッピン3種)		3TA4×12S	9
⑤側枠・たる木の取付け	φ4×19セルフドリリングビス		BN-1148	33
	枠キャップRL		CY-1618RL	RL各2
⑦屋根材及び押え材の取付け	φ4×25セルフドリリングビス		DDAP4×25W	8
⑧雨樋の組立て	雨樋部品セット(ETC-4101)	落し口	ETC-2646	1
		落し口パッキン	ETC-2669	2
		ドレンエルボ	ETC-4077	1
		エルボー	ETC-2435	2
		固定バンドA	ETC-2436	3
		固定バンドB	ETC-2437	3
		水抜き孔フサギ	ETC-2649	1
		φ4×12トラス(タッピン3種)	3TB4×12S	4
		φ4×19セルフドリリングビス	DDAP4×19W	3
		接着剤	BC-2659	1

梱包明細

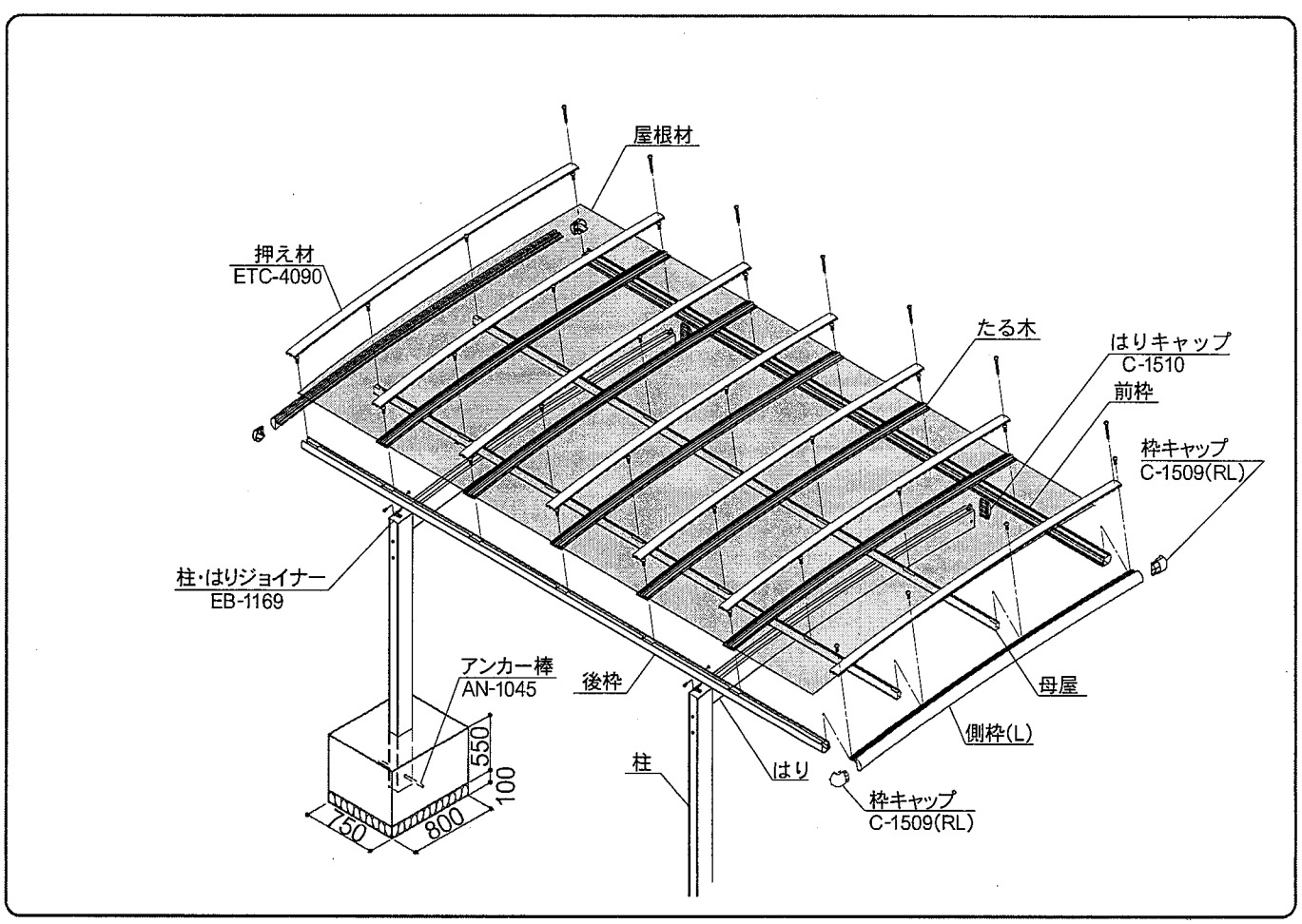
ニューエクジスRミニ連棟部品箱明細

組立手順	部品名称		部品記号	数量 SAZC92 連棟部品箱	数量 SAZC93 連棟部品箱
①基礎の施工	アンカー棒		AN-1045	1	2
②はりの取付け	はりキャップ		C-1510	1	2
	柱・はりジョイナー		EB-1169	1	2
	前後枠ピース		LB-1006	2	4
	M8×20六角フランジボルト		BN-1150	8	16
	φ4×12トラス（タッピン３種）		3TA4×12S	5	9
	孔ふさぎシール		NM-73	2	4
③止水パッキンの取付け	止水パッキン		BU-1033	2	2
	コーキング材		NBC-256	1	1
④前後枠・母屋の取付け	横材ブラケット		AB-144	2	4
	M8×20六角ボルト		BHO8×020S	2	4
	M8用フランジナット		BN-1151	2	4
	φ4×12トラス（タッピン３種）		3TA4×12S	5	9
⑤側枠・たる木の取付け	φ4×19セルフドリリングビス		BN-1148	17	25
⑦屋根材及び押え材の取付け	φ4×25セルフドリリングビス		DDAP4×25W	8	8
⑦連棟用	φ4×12トラス(小ネジ)		MTA4×12S	9	9
⑧雨樋の組立て	雨樋部品セット（ETC-4101）	落し口	ETC-2646	1	1
		落し口パッキン	ETC-2669	2	2
		ドレンエルボ	ETC-4077	1	1
		エルボー	ETC-2435	2	2
		固定バンドA	ETC-2436	3	3
		固定バンドB	ETC-2437	3	3
		水抜き孔フサギ	ETC-2649	1	1
		φ4×12トラス（タッピン3種）	3TB4×12S	4	4
		φ4×19セルフドリリングビス	DDAP4×19W	3	3
		接着剤	BC-2659	1	1

ニューエクジスRミニ背面合掌部品箱明細

	部品名称	部品記号	背面合掌用部品箱30	背面合掌用部品箱44	背面合掌連棟用部品箱30	背面合掌連棟用部品箱44
②背面合掌用	柱固定ブラケット	UB-1038	2	2	2	2
	M6六角袋ナット	NFD06S	3	4	3	4
	M6用平ワッシャー	ZC06S	3	4	3	4
	M6用スプリングワッシャー	ZF06S	3	4	3	4
	ゴムワッシャー付きテクスビス	BN-310-01	4	4	4	4
	背面合掌ブラケット	EB-1274	3	4	3	4
	M6×24六角ボルト	BH06×024S	3	4	3	4
	背面合掌キャップ	C-1596	2	2		
	背面合掌カバー	K-1185			1	1

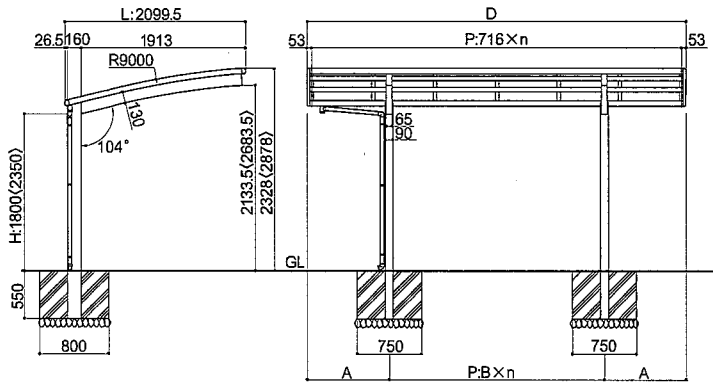
構造説明図



納まり図 ■単体納まり図・連棟タイプ姿図

単体納まり図

・〈 〉内寸法は長柱タイプを表します。

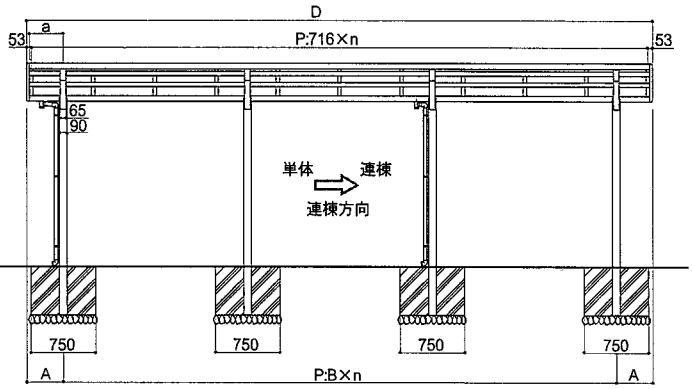


連棟タイプ姿図

連棟は必ず単体の右側に行ってください。

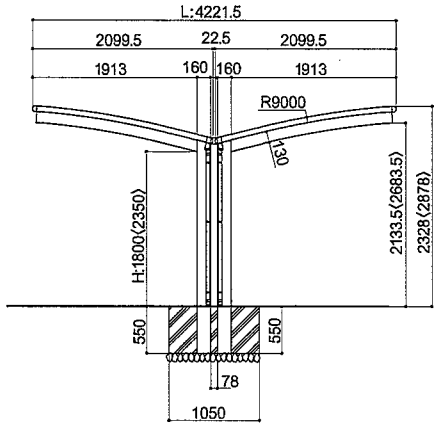
・〈 〉内寸法は長柱タイプを表します。

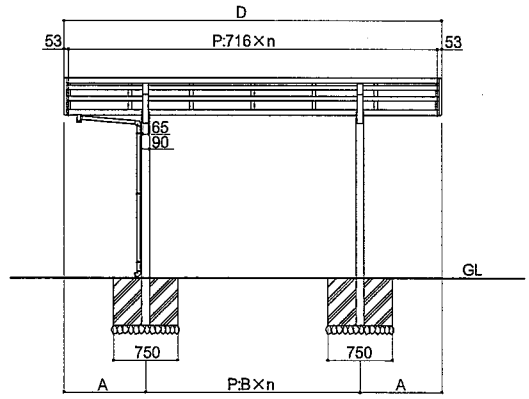
・本図は単体6スパン+連棟4スパンを示します。



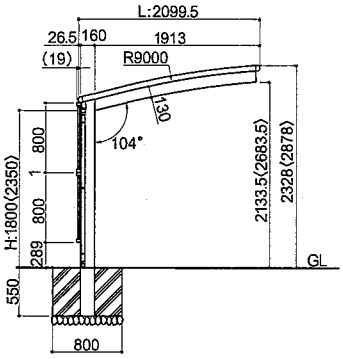
注）前後枠・母屋には4スパン・単体6スパン・連棟4スパン・連棟6スパンがあります。まず単体を取付け、右方向に連棟6スパンを取付けてください。最後に連棟4スパンを取付けてください。

■背面合掌姿図 ・〈 〉内寸法は長柱タイプを表します。

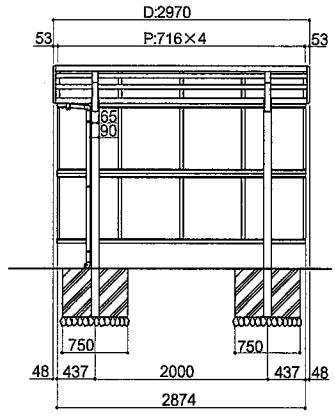




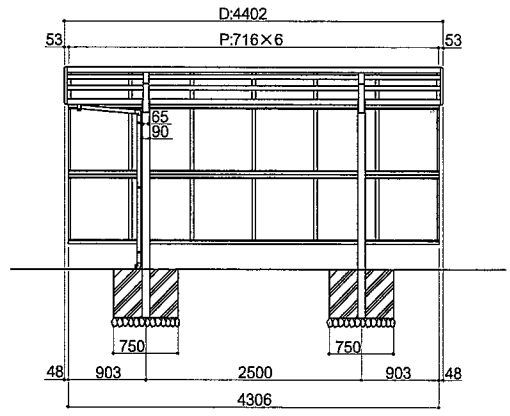
■サイドパネル納まり図 ・〈 〉内寸法は長柱タイプを表します。



4スパンH08+H08 2段



6スパンH08+H08 2段



■単体・連棟時寸法表

連棟数	4	6	4+4	6+4	6+6	6+4+4	6+6+4	6+6+6	6+6+4+4	6+6+6+4	6+6+6+6
屋根スパンn	4スパン	6スパン	8スパン	10スパン	12スパン	14スパン	16スパン	18スパン	20スパン	22スパン	24スパン
全巾 D	2970	4402	5834	7266	8698	10130	11562	12994	14426	15858	17290
A	485	951	667	421.5	599	1065	781	747	963	1029	595
柱間隔 B	2000	2500	1500	2141	2500	2000	2500	2300	2500	2300	2300
N	1	1	3	3	3	4	4	5	5	6	7
前後枠端部から柱中心まで a	453.5	919.5	635.5	210	567.5	1033.5	749.5	715.5	931.5	997.5	563.5

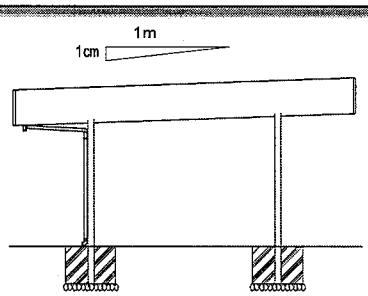
上記寸法表以上の連棟の場合は当社営業窓口にお問い合わせください。

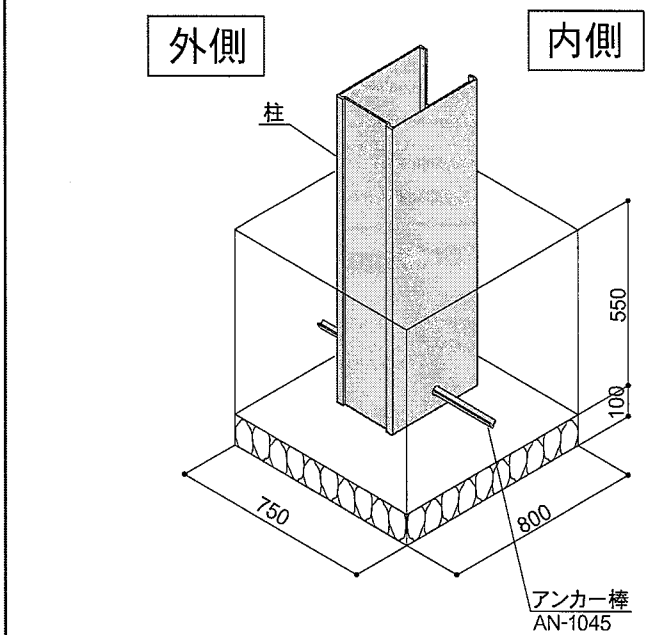
1 単体・連棟基礎の施工

注）背面合掌用は次ページを参照ください。

①柱埋込み位置を出し、指定寸法以上の穴を掘ってください。
柱の位置は納まり図を参照してください。
②柱にアンカー棒を差し込んでください。

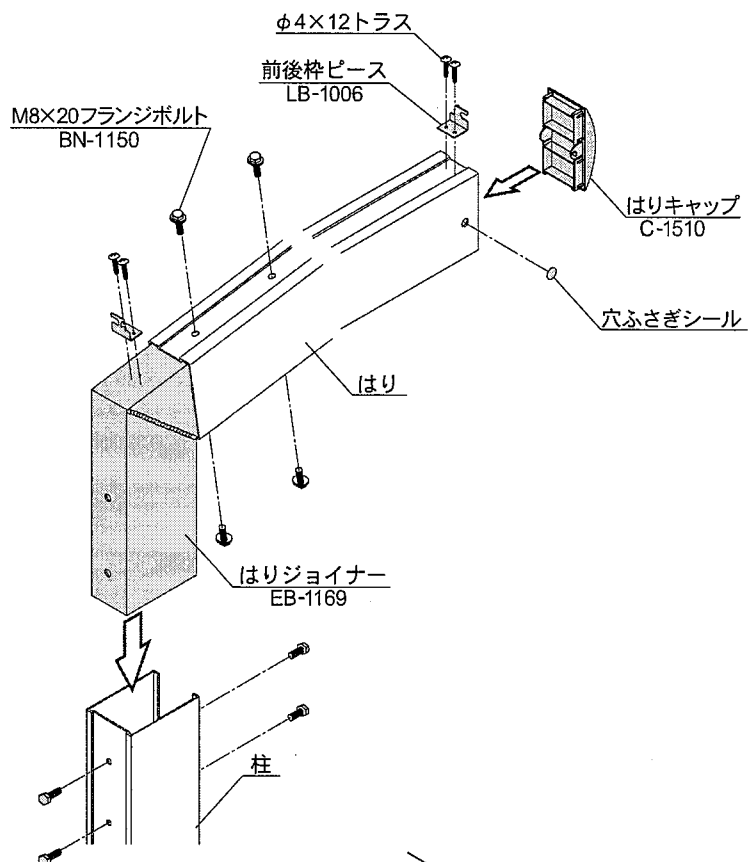
ポイント
- 屋根に水勾配をつけて施工してください。
- コンクリートの施工は骨組み完了後に行なってください。





2 はりの取付け

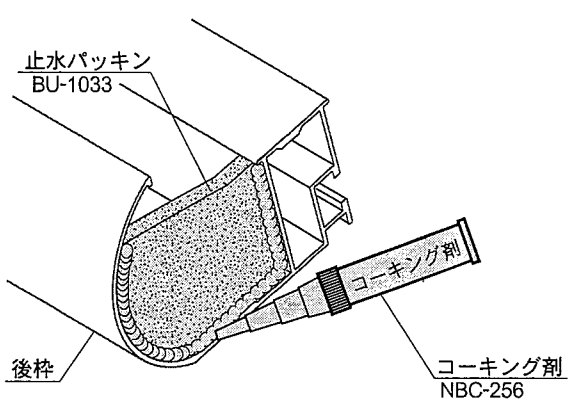
①はりにキャップを取付けてください。
（キャップ固定孔の孔塞ぎシールを貼ってください）
②柱・はりジョイナーをはり、柱に差し込み、フランジボルトで固定してください。
③前後枠ピースを取付けてください。



3 止水パッキンの取付け

- 後枠の止水パッキンを取付け、充分にコーキング剤を塗布してください。

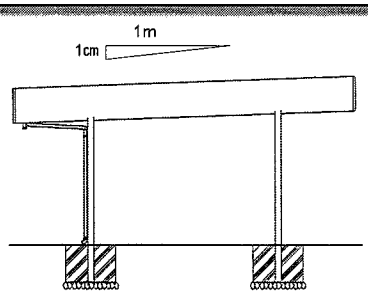
お願い
- コーキングは確実に行なってください。コーキングが不十分ですと雨漏りの原因になります。

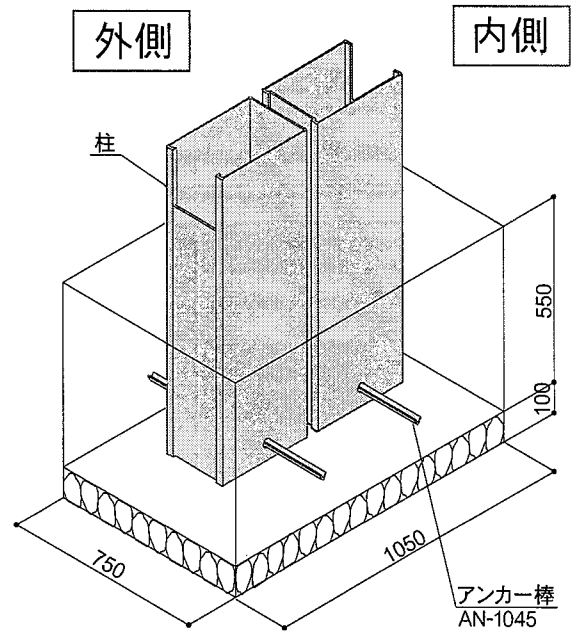


1 背面合掌基礎の施工

①柱埋込み位置を出し、指定寸法以上の穴を掘ってください。
柱の位置は納まり図を参照してください。
②柱にアンカー棒を差し込んでください。

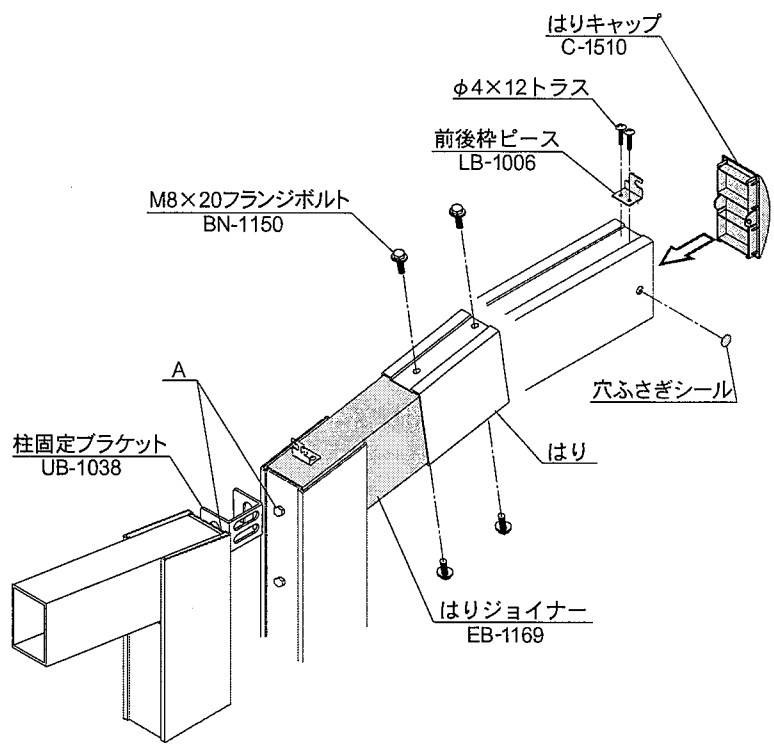
ポイント
●屋根に水勾配をつけて施工してください。
●コンクリートの施工は骨組み完了後に行なってください。





2 はりの取付け

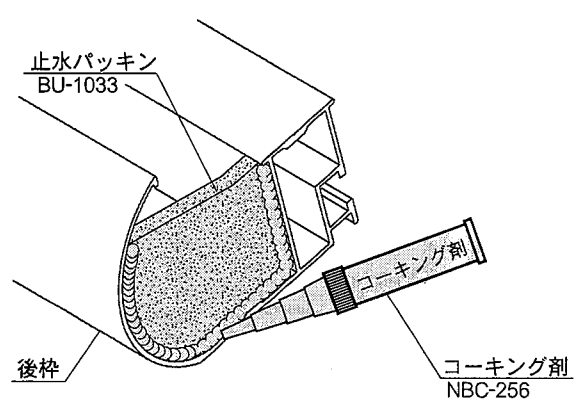
①はりにキャップを取付けてください。
(キャップ固定孔の孔塞ぎシールを貼ってください)
②柱・はりジョイナーをはり、柱に差し込み、フランジボルトで固定してください。
フランジボルトAで柱固定ブラケットを共締めし、柱をしっかり連結してください。
③前後枠ピースを取付けてください。



3 止水パッキンの取付け

●後枠の止水パッキンを取付け、充分にコーキング剤を塗布してください。

お願い
●コーキングは確実に行なってください。
コーキングが不十分ですと雨漏りの原因になります。



4 前後枠・母屋の取付け

①前後枠にボルトを通し、はり部に取付けた前後枠ピースへボルトを通しナットで固定してください。
②母屋に横材ブラケットを差し込んでください。
③母屋を差し込んだ横材ブラケットをはりに仮止めしてください。

ポイント

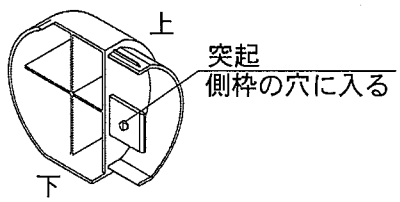
●母屋には向きがあります。右図を参考に取付けてください。
●母屋位置は、次の側枠・たる木取付け時に決まりますので仮止めしておき次の工程で本締めしてください。

5 側枠・たる木の取付け

①たる木を前後枠の取付孔部と母屋の切り欠き部を合わせビス止めしてください。後枠は後枠ピースがスライドしますので後枠ピースの位置を調整し後枠のたる木取付孔にビス止めしてください。
②側枠の両端切口にコーキングを施し側枠にキャップを差し込み取付けてください。

ポイント

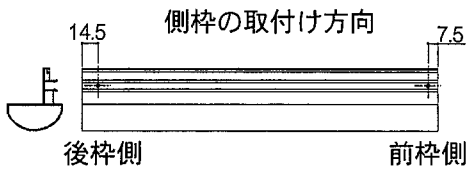
●前後枠キャップには左右があります。下図を参考に切り欠きのある方を上にして間違えないようにお取付けください。



③側枠を前後枠・母屋に取付けてください。
④横材ブラケットを本締めしてください。

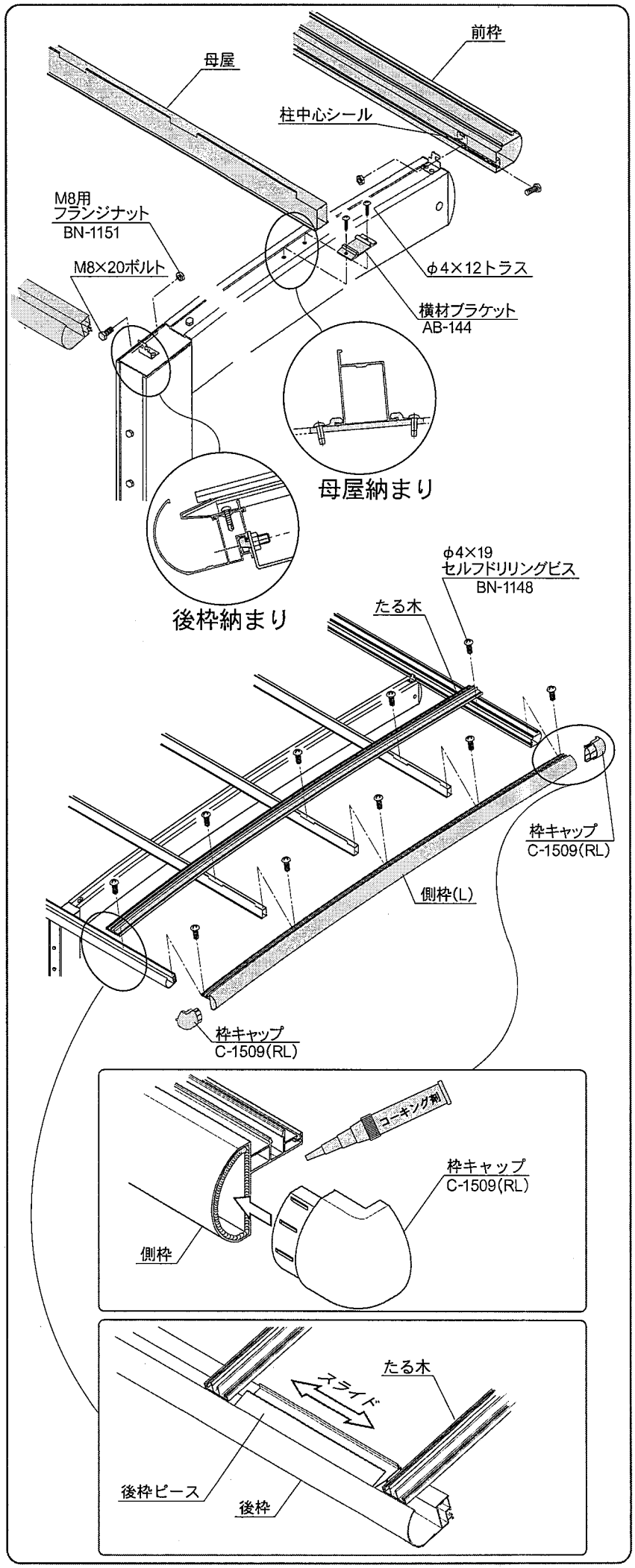
ポイント

●側枠には左右があります。下図を参考に間違えないようにお取付けください。



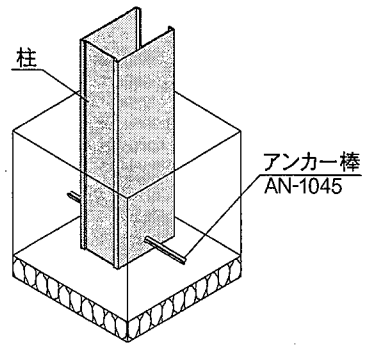
お願い

●たる木取付けビスはφ4×19セルフドリリングビスを使用しています。
電動ドライバーをご使用ください。



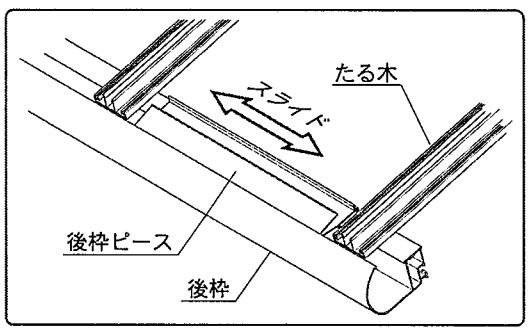
6 コンクリートの打ち込み

① 柱のアンカー棒を確認してください。
② 屋根の対角、柱の間隔・垂直・平行寸法が正しくでているか確認してください。
③ コンクリートを流し込んでください。
④ コンクリートが固まるまで養生してください。（4日～1週間程度）



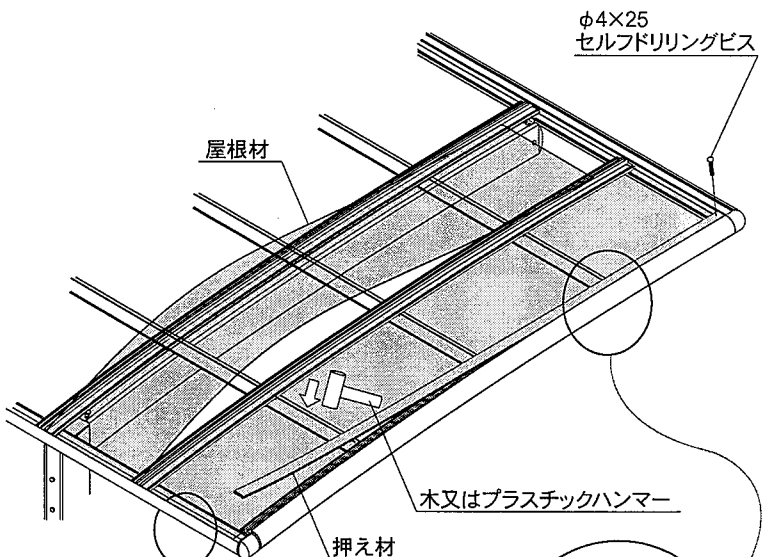
7 屋根材および押え材の取付け

① 屋根材は先に前枠側へ差し込んでから後枠に入れ後枠に押し当ててください。
② 前枠のビード部に押え材を押し当て、前枠側から後枠方向へ木槌またはプラスチックハンマーで叩き込んでください。

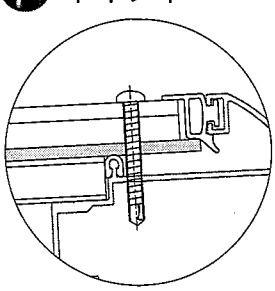


ポイント
押え材の取付けは、木ハンマー・プラスチックハンマーを使用して行ってください。ゴムハンマーでの施工は押え材が入りにくい場合があります。

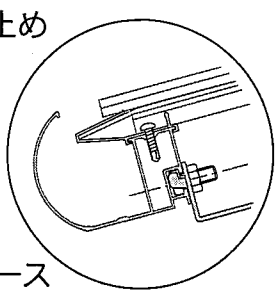
③ 各押え材の前枠側を下図を参考にビス止めしてください。



ポイント

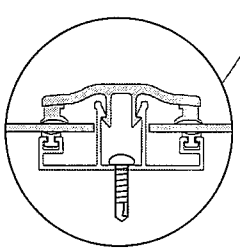


前枠部ビス止め

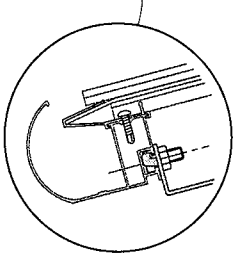


後枠ピース
屋根材部納まり

屋根材を後枠ピースに押し当てる。

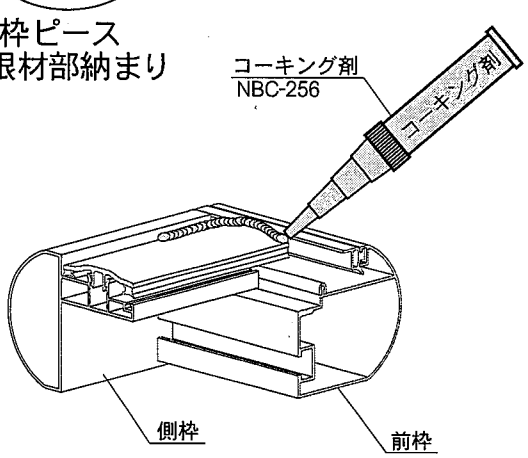


たる木押え材納まり



後枠ピース
屋根材部納まり

④ 前枠側コーナー部にコーキングを施してください。



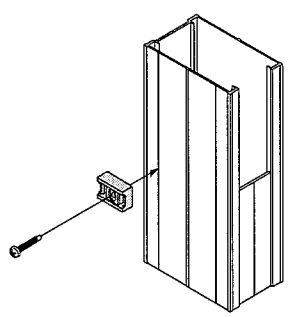
お願い
- 押え材は浮いているところがないよう完全に叩き込まれているか確認してください。
- コーキングは確実に行なってください。コーキングが不十分ですと、雨漏りの原因となります。

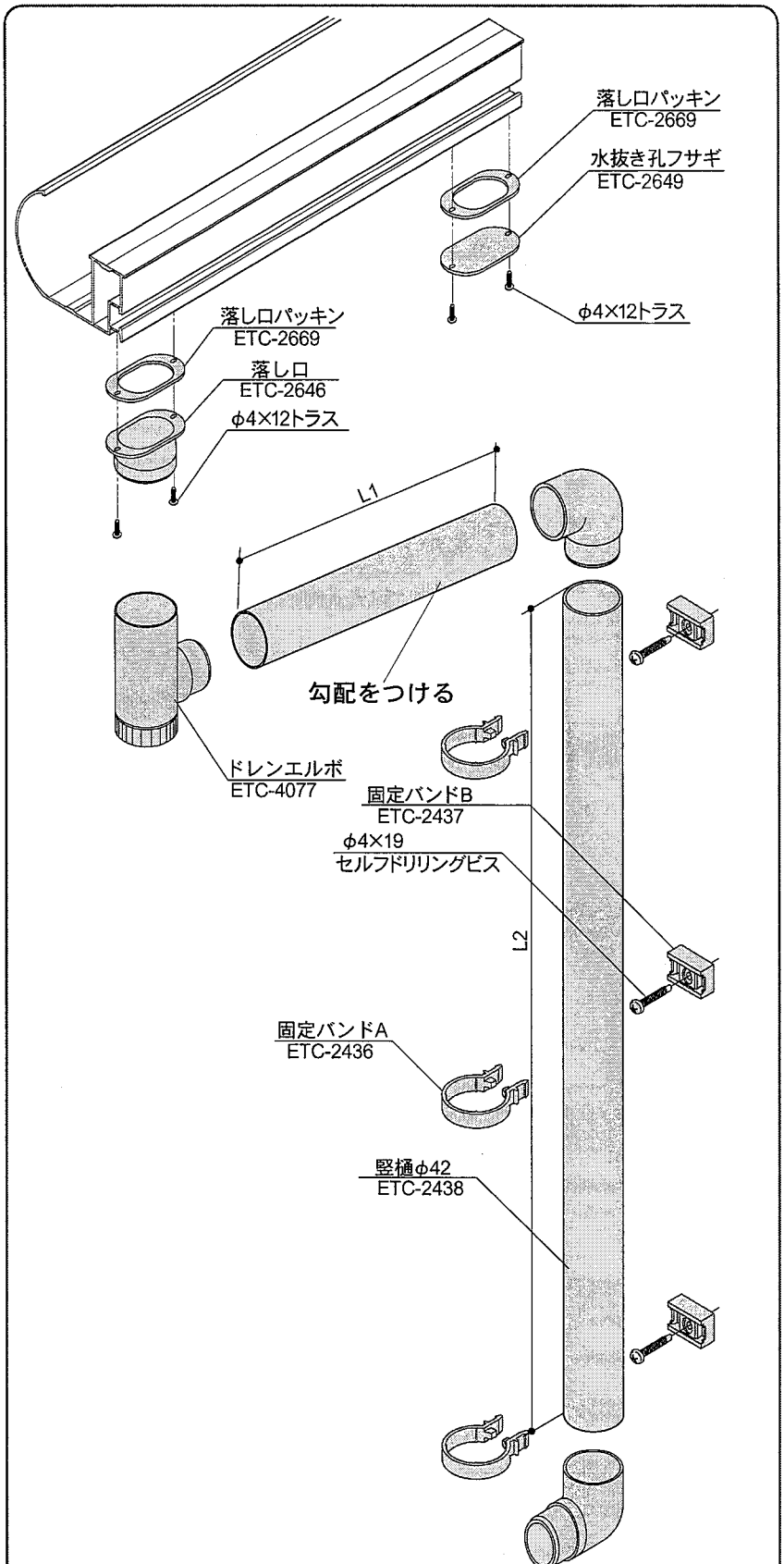
8 雨樋の組立

① たて樋の長さ(L1・L2)は現場に合わせて切断してください。
② 後枠の両端にある加工孔の片側(水勾配の下側)に落し口パッキン・落し口を取付けます。
③ 右図を参考に雨樋部品を仮組みしてから接着剤にて順次接着してください。
④ 柱3ケ所に固定バンドAをビス止めし、固定バンドBにてたて樋を固定してください。
⑤ 使用しない後枠水抜き加工孔には落し口パッキン・水抜き孔ふさぎを取付けてください。

ポイント

●横樋(L1部分)は勾配をつけてください。
●固定バンドは、下図のように柱の溝にφ4×19セルフドリリングビスで固定してください。





● 連棟部の組立て

① 本マニュアル5ページ単体・連棟基礎の組立てはりの取付けを参照し施工してください。
② 後枠に止水パッキンを取付けてください。
連結部は後枠切口に止水パッキンを取付けてコーキングをしてください。

● 止水パッキンの取付け

● 後枠の止水パッキンを取付け、充分にコーキング剤を塗布してください。

お願い

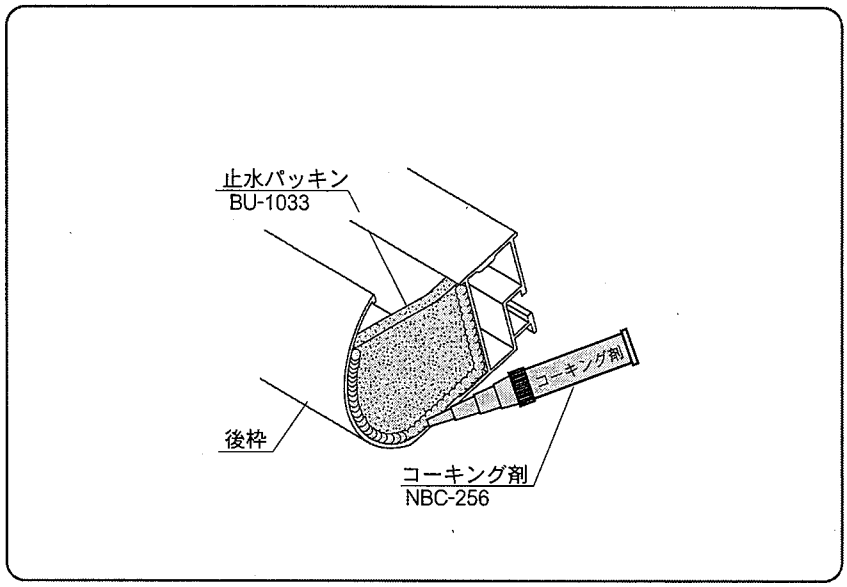
●コーキングは確実に行なってください。
コーキングが不十分ですと雨漏りの原因になります。

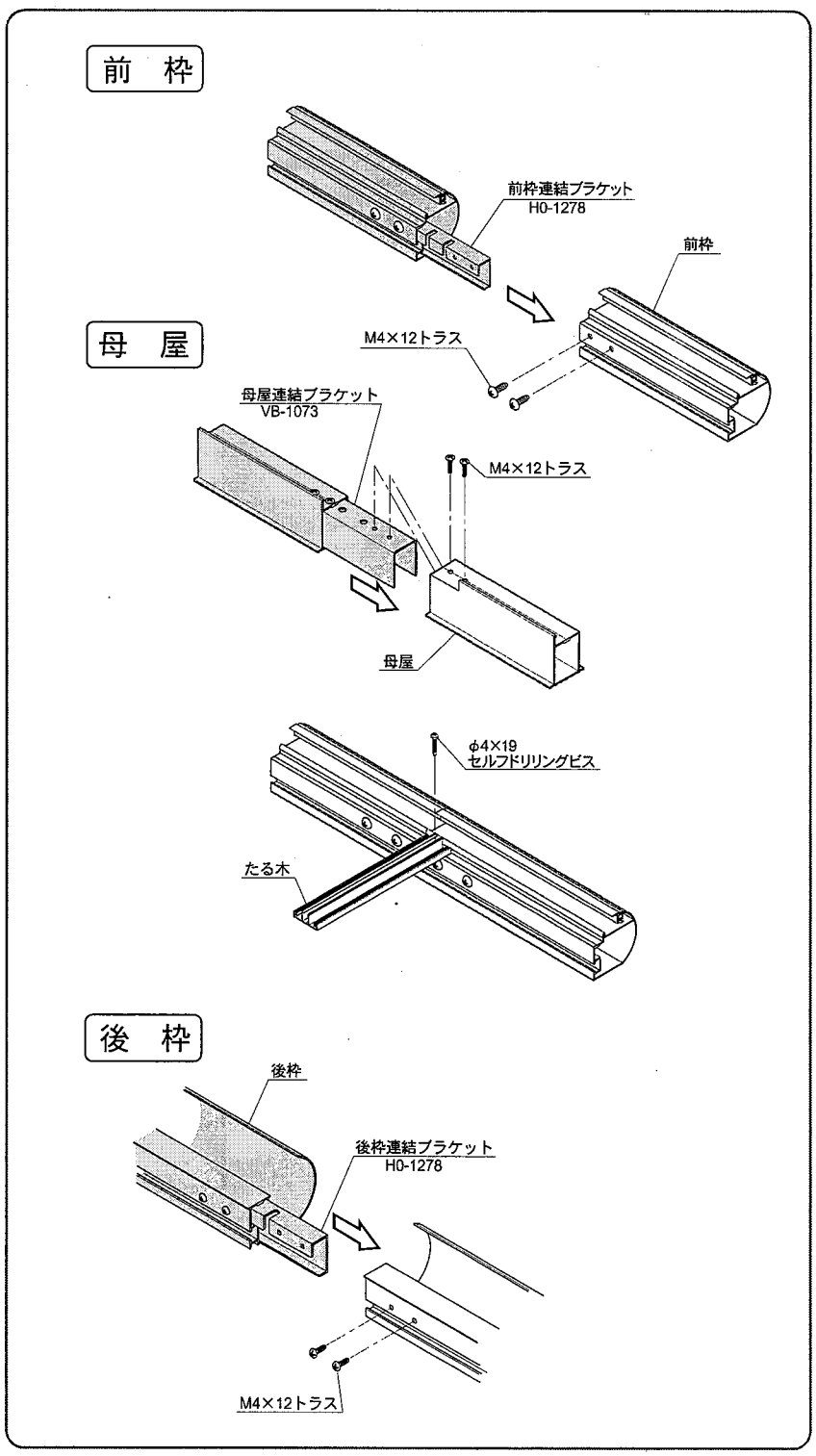
● 前枠・後枠・母屋の連結

注）前後枠・母屋には4スパン・単体6スパン・連棟4スパン・連棟6スパンがあります。
まず単体を取付け、右方向に連棟6スパンを取付けてください。
最後に連棟4スパンを取付けてください。

連棟用部材には、連棟用部品が取付いております。

前枠・後枠・母屋の連結後本マニュアル7、8、9ページを参照し屋根部・雨樋の施工を行ってください。





● 背面合掌カバー取付け

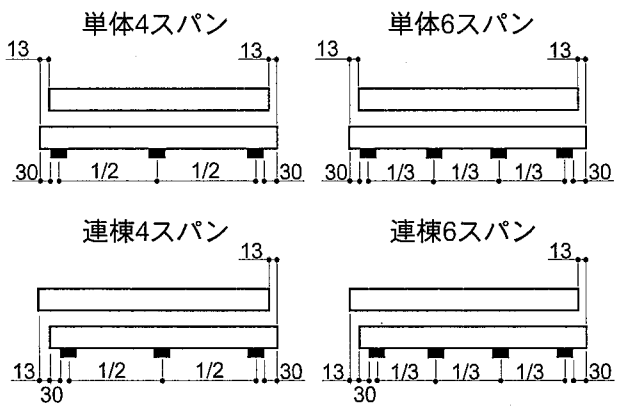
単体

① 背面合掌部材にボルトを5個通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットを取付けてください。（袋ナットは締め込まず、緩めに止めてください。）
② 背面合掌部材を後枠にのせ位置に合わせ、合掌ブラケットにて固定してください。

連棟

① 背面合掌部材にボルトを5個通し、ワッシャースプリングワッシャー、袋ナットを取付けてください。（袋ナットは締め込まず、緩めに止めてください。）
② 単体側の固定した背面合掌部材に連棟用背面合掌部材をつき当て固定してください。
③ 背面合掌連棟カバーを背面合掌連結部が真中に来るようにゴムワッシャー付きテクスビスで取付けてください。

背面合掌ブラケット取付位置



● 背面合掌キャップの取付け

① 背面合掌キャップの取付け孔の中心を合掌部材の溝に合わせて、2ケ所テクスビスで止めてください。(背面合掌部材に孔加工はありません。)

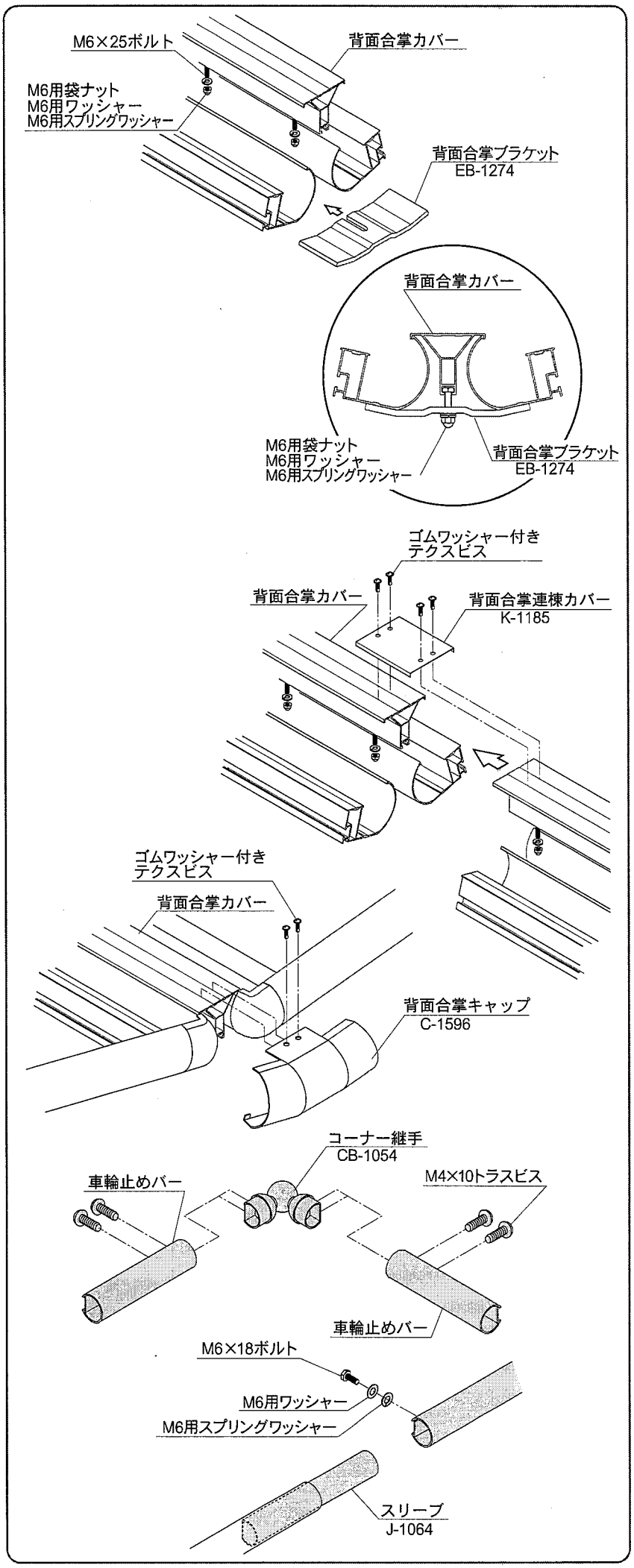
● 車輪止めバー組立て

端部

● 車輪止めバーと端柱をコーナー継手（φ4×10トラスビス）にて取付けてください。

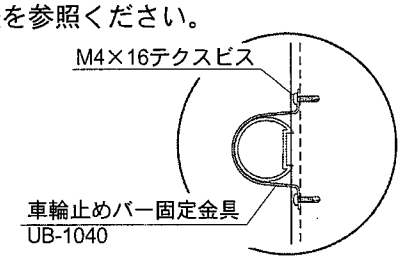
連結部

● 車輪止めバーをスリーブ（M6×18ボルト）にて連結してください。

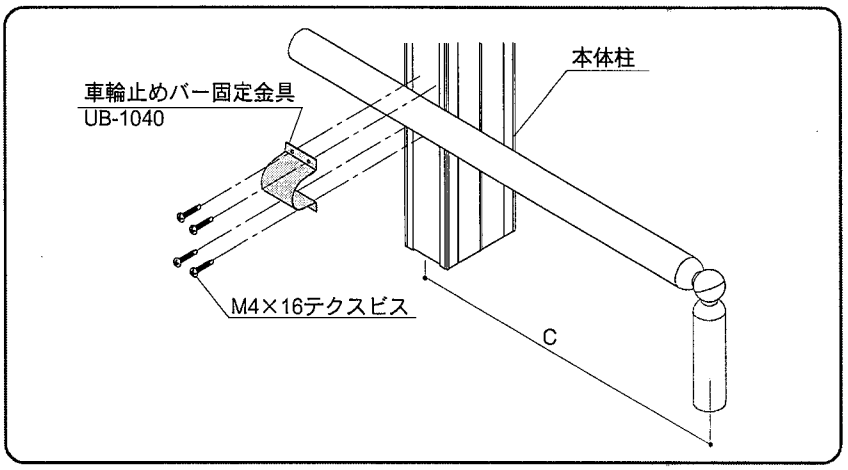


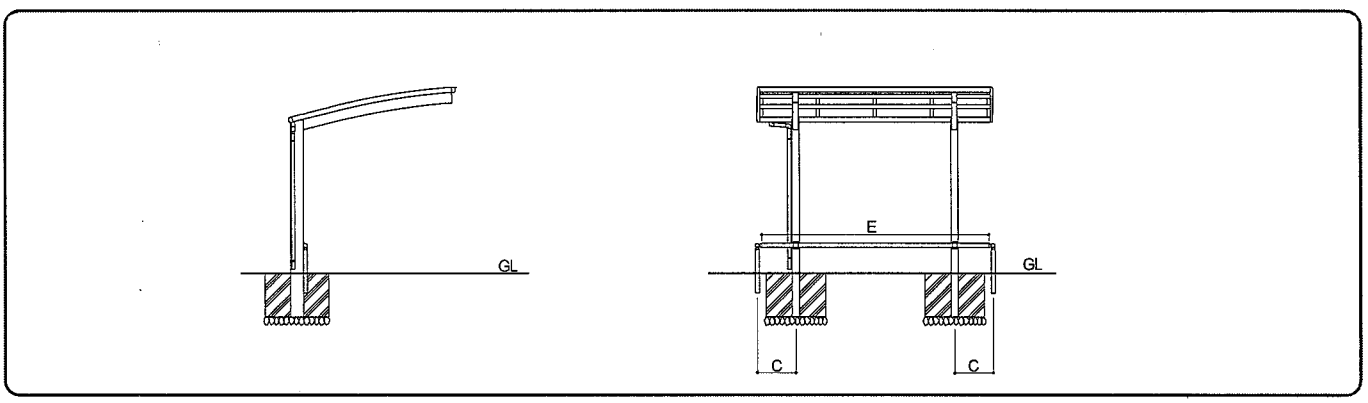
● 車輪止めバー取付け

- 車輪止めバーを本体柱に車輪止め固定金具にて(M4×16テクスビス)固定してください。
- 取付け、埋込み寸法については裏面納まり図、寸法表を参照ください。



断面図





□ 車輪止めバー寸法表

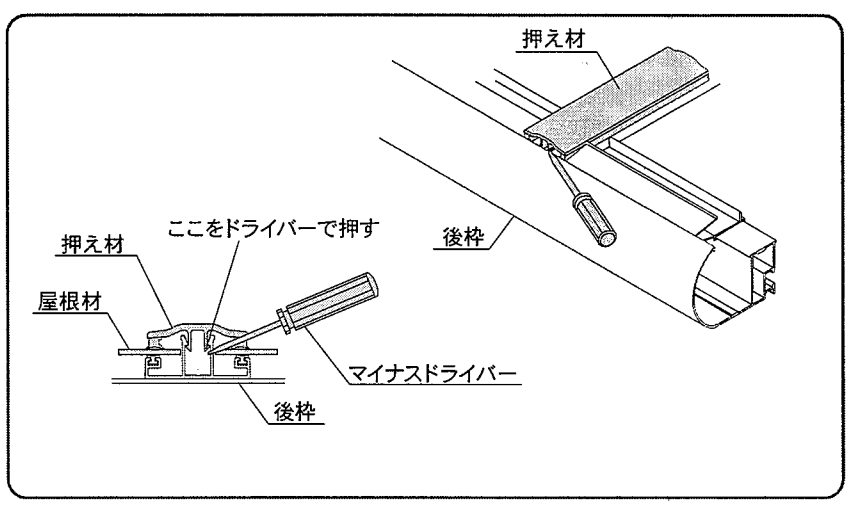
	4	6	4+4	6+4	6+6	6+4+4	6+6+4	6+6+6	6+6+4+4	6+6+6+4	6+6+6+6
C	487.5	953.5	669.5	424	601.5	1067.5	783.5	749.5	965.5	1031.5	597.5
E	2864	4296	5728	7160	8592	10024	11456	12888	14320	15752	17184

● 屋根材の補修方法

① 前枠側の押え材固定ビスを外してください。
② 後枠側の押え材とたる木の間にマイナスドライバーを差し込み、押え材のツメを押しながら上方向に押え材を持ち上げて外します。
③ 屋根材を外してください。

お願い

- 押え材が持ち上がり始めたら折れたりしないように、ゆっくりとはぎとってください。
- 押え材の折れ曲りや形状に異状が見られる場合には、新しい押え材に交換してください。



○ 施工完了時の注意事項

- ボルト・ビス類が確実に締め付けられているか確認してください。
- 使用上危険な箇所等がないか点検してください。
- 「お取扱いの手引き」に基づき、商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- このマニュアルは、施工終了後施主様にお渡ししてください。

● オプション品のご紹介

本商品には下記のオプションがございます。
①サイドパネル
②連棟部品
③背面合掌、背面合掌連棟
④車輪止めバー
⑤ネームシール
⑥アルミ屋根材
⑦熱線遮断屋根材、サイドパネル面材